

物理・宇宙ショップ

[1] 仮 説

様々な発表会や科学コンテストに積極的に参加することで、科学的資質・能力を高めることができる。また、科学館や小中学校での活動は、教えるという立場から多くのことを学び、研究者としての資質の育成に繋がるものと考えられる。

[2] 内容と日程(予定)

① 内 容

県立科学館での科学ボランティア参加。学園祭での展示、発表。県立科学館での科学の祭典スタッフ参加。中学校への出前授業、小学生対象の天体観測会、生徒の自然科学研究発表会参加、物理チャレンジ出場。

②日 程 (予 定)

- 5月 科学館ボランティア
- 6月 学園祭展示発表
- 7月 全国物理チャレンジ1次 小学校への出前授業 全国高校総合文化祭
- 8月 全国物理チャレンジ2次
- 9月 日本学生科学賞県審査会
- 10月 中学校への出前授業
- 11月 県生徒自然科学研究発表大会
- 12月 小学生対象の天体観測会
- 1月 山梨県サイエンスフェスタ
- 2月 甲府南高校 SSH 中間報告会

[3] 昨年度の検証

①成 果

甲府市立南中学校で、静電気をテーマとした出前授業を行ったり、甲府市立貢川小学校の児童とその保護者を対象とした天体観測会を行ったりした。SSHの成果普及に繋がるとともに、本校生徒達の教える技術やプレゼンテーション力を高めるかことができた。

②課 題

課題研究やコンテストへの取り組みの強化と成果の普及

③評 価

課題研究においては、「最速降下曲線の研究」を主に行い、発表会やコンクール等に出品し上位の賞を受賞することができ、26年度の全国総合文化祭に県代表として選ばれた。小中学校での出前授業では、理科の実験や天体観測の楽しさを伝えようと生徒達が様々な工夫を行い、様々な面で意欲的、積極的に取り組む姿勢が見られ教えることで生徒達の成長を感じた。

